

選択教科音楽科学習指導案

指導者 名須川 博

1 日 時 平成16年9月8日(水)第5校時

2 コース 2年選択 音楽 男子2名 女子15名 計17名

3 主 題 リコーダーアンサンブルの楽しみ

4 主題について

リコーダーの特徴を生かし、曲にふさわしい音色や奏法を工夫して演奏できるようにする。また、音楽の表現を音楽活動によって伸ばし、豊かな情操を養うことを目指す。講座では(ソプラノ・アルト・テナー・バス)それぞれのリコーダーを使用して、アンサンブルを楽しむことができるようにする。

5 生徒について

本コースの生徒は、日頃から様々な音楽に触れている者が多く、読譜力の高い生徒が多い。男女問わず、音楽に大変興味をもっており、校内における合唱活動では力を入れて取り組んでいる。今回の講座では、リコーダーについて興味を持ち、学習しようとする生徒の意欲が強く感じられる。

6 主題の指導構想

本コースでは、必修音楽で培った基礎・基本のうえに立ち、さらに深く楽曲の内容を追求し、個々に音楽の美しさや楽しさを追求させ、さらによりよい演奏をできる活動を取り入れたい。

7 目標

- ・ 楽曲をリコーダーで演奏することができる。
- ・ 楽曲にあった表現で演奏することができる。
- ・ アンサンブル演奏することができる。

8 評価規準

[音楽への関心・意欲・態度]

- ・ 器楽表現や合奏することに意欲的に取り組むことができる。

[音楽的な感受と表現の技能]

- ・ 曲想を感じ取り、楽器の奏法や楽器の美しい音色を生かして演奏することができる。

9 主題の指導計画

別紙「コース別紙指導計画」参照。 本時 16 時間目

10 本時の指導

(1)本時の到達目標

- ア 全体の響きに調和させながら、自分のパートの役割を考え、演奏することができる
 イ 録音演奏を聴き、演奏について感想を発表し、次の演奏につなげることができる。

(2)本時の指導構想

本時では、アンサンブルにおける各パートの役割を考え、曲にふさわしいと思われる表現を工夫し、楽器の特徴を生かした演奏ができるようにしたい。内容的にはパート練習に主として行き、曲の表現について工夫し、アンサンブルの発展につなげたい。

評価に関しては、本時の目標が達成できるように教師の観察によるチェック・評価を適切にし、行う。

9 本時の展開

段階	教師の働きかけ/教材教具	過程	生徒の学習活動	指導/支援上の留意点 評価
導入 10分	1 音階練習と運指確認をさせる。 2 課題の確認をさせる。 (学習シート)	課題把握	1 音階練習と運指の確認を行う。 2 課題の確認を行う。	指使いに注意。 学習シートに注意。
	リコーダー技法の習 曲のイメージをもって演奏できる。			
展開 35分	3 全体演奏させる。	課題追求	3 全体演奏を行う。	各パートに注意。
	4 パートごとに練習させる。		4 パートごとに練習を行う。	自分のパートに注意。
	5 全体で録音演奏し、その後感想を発表させる。		5 録音演奏を聴き、感想を述べる。	感想を述べることができたか。
	6 発表をもとに、もう一回パート練習をさせる。		6 発表をもとに練習を行う。	感想をもとに練習できているかチェックする。
	7 全体で合奏させる。		7 全体合奏を行う。	互いの音を良く聴き演奏することができたか。
終末 5分	8 まとめをさせる。	まとめ	8 学習シートに自己評価記入を行う。	

評価規準表 音楽(2年選択)

時数	到達目標 (必修教科との関連)	具体の評価規準		
		音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
1	自分に最も適したコースを えらぶことができる。	授業の内容について把握する。		
2	オリエンテーションをうけ学習曲について把握 することができる。	これから学習する、ことについて理解でき る。 A 積極的に学習に参加できる。 B 学習に参加できる。		
3	リコーダーの取り扱いがわかる。	リコーダーの種類について学習し、取り扱 いについてわかる。 A リコーダーについて、興味・関心をもっ て、学習することができる。 B リコーダーについて学習することができ る。		
4	リコーダー(星に願いを)練習することができ る。			曲を奏することができる。 A 楽器の奏法や音色を生かし奏することができる。 B リコーダーの運指を理解し、奏することができる。

5	リコーダー（星に願いを）練習することができる。	演奏において意欲的に練習に取り組むことができる。 A 意欲的に演奏に取り組むことができる。 B 演奏することができる。		。
6	リコーダー（星に願いを）アンサンブル演奏することができる。		曲を演奏する際、互いのパートのバランスを考え、演奏することができる。 A パートのバランスを考え、演奏することができる。 B 各パート合わせて演奏することができる。	
7	リコーダー（イエスタディー）の楽器選択と練習を行うことができる。	自分の受け持つ楽器を選択することができる。 A 積極的に自分にあう楽器を選ぶことができる。 B 楽器を選ぶことができる。		楽器を選択し、自分のパートを奏することができる。 A 楽器を選択し、自分のパートを正確に把握し奏することができる。 B 学期を選択し、自分のパートをだいたい把握し奏することができる。
8	リコーダー（イエスタディー）の合奏を行うことができる。			曲にふさわしく、他の声部との響きあい表現することができる。 A 曲にふさわしい奏法を旋律の変化と関連させて、演奏することができる。 B 曲にふさわしい奏法を使って、おおむね演奏することができる。

9	リコーダー（夢の世界を）の楽器の選択と練習を行うことができる。	<p>自分の奏したい楽器を選択することができる。</p> <p>A 積極的に自分が奏したい楽器を選ぶことができる。</p> <p>B 楽器を選ぶことができる。</p>		<p>楽器を選択し、自分のパートを奏することができる。</p> <p>A 楽器を選択し、自分のパートを正確に把握し奏することができる。</p> <p>B 学期を選択し、自分のパートをだいたい把握し奏することができる。</p>
10	リコーダー（夢の世界を）の演奏を行うことができる。		<p>曲にふさわしい奏法を工夫して表現することができる。</p> <p>A 曲にふさわしい奏法を、旋律の変化などと関連させて、工夫することができる</p> <p>B 曲にふさわしい奏法を工夫しているところがある。</p>	
11	リコーダー(夢の世界を)の合奏を行うことができる。		<p>曲の味わいが伝わるような音色で奏することができる。</p> <p>A 曲にふさわしい楽曲編成を工夫したり、求めている音色がでるような楽器の使い方を工夫し奏することができる。</p> <p>B 曲にふさわしい楽器編成の工夫をし、奏することができる。</p>	

12	リコーダー（夜明け）の楽器選択と練習を行うことができる。	<p>自分が演奏したい楽器について感心を持って選択し、練習することができる</p> <p>A 自分にあった楽器かどうか、よく考え選択し、練習に取り組むことができる</p> <p>B 楽器を選択し、練習に取り組むことができる。</p>		
13	リコーダー（夜明け）の練習を行うことができる。		<p>曲の味わいが伝わるような音色で合奏することができる。</p> <p>A 曲の特色や、味わいが十分表現できている。</p> <p>B 曲の味わいがおおむね表現できている。</p>	
14	リコーダー（グリーンスリーブス変奏曲）の楽器選択し、練習を行うことができる。	<p>自分の奏したい楽器を選択し、進んで試し弾きなどをすることができる。</p> <p>A 意欲を持っていろいろな楽器に触れ自分なりに音を出そうとしている。</p> <p>B 楽器に興味を持ちすすんで触れてみようとしている。</p>		
15	リコーダー（グリーンスリーブス）の演奏を行うことができる。	<p>奏法のあらゆる可能性を探ろうとする。</p> <p>A 意欲を持って様々な方法に挑み、それぞれの難易度を確かめようとしている。</p> <p>B 楽器の音色や奏法に気づき、表現の工夫をしている。</p>		

16	リコーダー（グリーンスリーブス）のアンサンブル演奏を行うことができる。	<p>それぞれのアンサンブルの工夫点を感じ取ることができる。</p> <p>A 奏法の良し悪しや、全体の音楽的な仕上がりがり状態を指摘することができる。</p> <p>B 全体の流れの良し悪しを味わうことができ、評価や感想を述べるすることができる。</p>	<p>アンサンブルの各声部の役割を感じ取り、役割にふさわしい表現を工夫する。</p> <p>A 声部の役割に気づき、その役割にふさわしい奏法や表現の工夫をすることができる。</p> <p>B 声部の役割を意識して表現の工夫をしている。</p>	
17	今までのまとめとして（グリーンスリーブス）のアンサンブルを行い、感想文を書く。			